

重点プロジェクト1

みんなが集まる交流・移住促進プロジェクト

- 観光・交流資源の充実
- 農漁業体験等の展開の促進
- 定住・移住希望者の掘り起こし
- 広域的な周遊ルートの充実
- 魅力発信の強化と知名度の向上
- 定住・移住に関する相談・支援体制の強化

重点プロジェクト2

未来へつなぐ教育・文化のまちづくりプロジェクト

- 生きる力の育成を重視した教育活動の推進
- 地域とともにある学校づくり
- 特色ある講座・教室の企画・開催
- スポーツ施設の整備充実
- 文化的施設の整備・活用

重点プロジェクト3

次代につなぐ農工振興プロジェクト

- 農業生産基盤の充実
- 遊休農地の解消と農地の集積
- 農畜水産物の消費拡大
- 担い手の育成・確保
- 農畜水産物の生産性の向上・ブランド化の促進
- 工業団地への企業の誘致

重点プロジェクト4

みんないきいき健康長寿プロジェクト

- 健康づくり支援体制の充実
- 妊娠期から子育て期における切れ目のない支援の充実
- 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進
- 生活習慣病の発症予防・重症化予防の徹底
- 地域支援事業の充実
- 支え合い助け合う地域づくり

重点プロジェクト5

みんなで築く環境共生プロジェクト

- 潤沼の保全に関する意識啓発等の推進
- 地球温暖化対策の推進
- ごみの不法投棄の防止
- 農業集落排水の整備
- 潤沼の水質改善
- ごみの適正処理と5Rの促進
- 公共下水道の整備
- 合併処理浄化槽の普及促進

重点プロジェクト6

みんなが輝く協働プロジェクト

- 地域防災力の強化
- 多様な主体の参画・協働の促進
- コミュニティ活動の活性化支援
- 総合的な防災体制の確立
- コミュニティ意識の啓発

【問合せ先】 地域政策課 ☎029-215-8003（直通）

まちづくりの指針

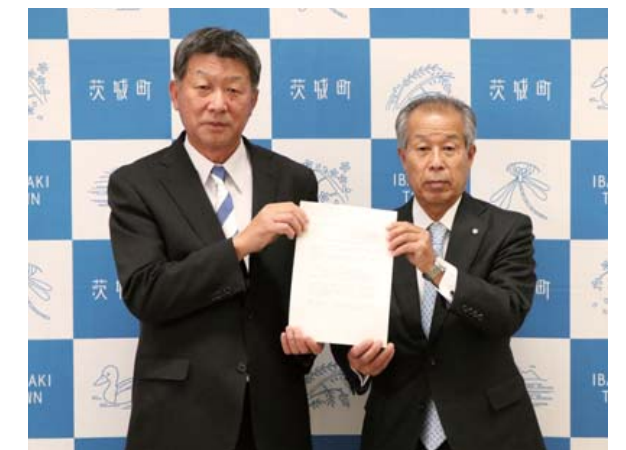
茨城町第6次総合計画

後期基本計画の策定

町では、「茨城町第6次総合計画」を平成29年度からスタートし、まちづくりの基本理念、目標とする町の将来像などを定めた基本構想（計画期間：令和9年度まで）と各分野において取り組む主要な施策や数値目標などを示した前期基本計画により、各種施策を推進してきました。令和4年度をもって前期基本計画の期間が終了したことから、これを継承・発展させるとともに新たな視点と発想を加えた、今後5年間（令和5年度～令和9年度）のまちづくりの指針となる「茨城町第6次総合計画後期基本計画」を策定しました。

策定にあたっては、町の施策に対する満足度やまちづくりへの意識調査を目的に実施した町民アンケート調査、住民説明会及びパブリック・コメントの結果等を踏まえるとともに、諮問機関である茨城町総合計画審議会（委員15人）による審議を重ね、計画決定に至りました。

後期基本計画では、目標とする町の将来像「三世代が共に輝く元気交流空間 夢と希望を未来へつなぐまち」の実現に向け、特に重点的に取り組む「重点プロジェクト」をはじめとした主要施策を示しており、今後、分野横断的な対応等により、町一体となって積極的に推進していきます。



（左から）海老澤貞雄審議会会長、小林宣夫町長

— 町の将来像 —

三世代が共に輝く元気交流空間 夢と希望を未来へつなぐまち

— 町の将来像を実現するための分野目標及び施策項目 —

1 健やかでやさしい健康・福祉のまち

- ①保健・医療
- ②子育て支援
- ③高齢者支援
- ④障がい者支援
- ⑤地域福祉
- ⑥国民年金・低所得者福祉

2 快適で安全・安心な生活環境のまち

- ①環境保全
- ②ごみ処理等環境衛生
- ③上・下水道
- ④公園・緑地
- ⑤消防・防災
- ⑥交通安全・防犯
- ⑦消費者対策

3 次代を担う人を育む教育・文化のまち

- ①学校教育
- ②生涯学習
- ③スポーツ
- ④文化芸術・文化財
- ⑤青少年健全育成

4 活力と交流あふれる元気産業のまち

- ①農林水産業
- ②商工業
- ③観光・交流
- ④雇用対策

5 未来への生活基盤が整ったまち

- ①土地利用・市街地整備
- ②道路・公共交通
- ③情報化
- ④住宅、定住・移住対策

6 みんなの力でつくる自立したまち

- ①町民参画・協働
- ②コミュニティ
- ③人権尊重
- ④男女共同参画
- ⑤行財政運営